「主将は、部活内がうまく回るように立ち振る舞う、潤滑油のような存在。」

2年にわたって主将を務め、低迷していたアメフト部を建て直し、創部30周年の2012年に2部リーグ全勝優勝に導いた、岩佐純平さん。今季の活躍への期待につながる結果を残せたのは、部員の活躍はもとより、OB、保護者の方々のサポートがあったからこそだと振り返る。

岐阜大学アメリカンフットボール部
PHANTOMS［ファントムズ］

1977年に設立された同好会時代を経て、1982年に創部。部活動に励むと共に、地域貢献活動を通して岐阜大学のPRにも取り組む。また、小中学生対象のクラブチーム「岐阜リトルファントムズ」（2006年創設）の指導協力等を通して、アメリカンフットボールの普及に努める。今季は第31代主将・西脇慎二さんを中心にチーム一丸となって、1部リーグ昇格を目指す。

PHANTOMS前主将
岩佐 純平さん

大学院応用生物科学研究科
生産環境科学専攻
生態環境管理学コース1年

チームメイトを大切にできるチームであり続けてほしい。

コーチに言われて動くのではなく、自分たち主体でやっていきたい。

アメフト部には、友人に誘われるまま入部したんです（笑）。当時は部員数が少なく、いい練習がしたくてもできない状況。練習や運営に関しても、コーチ陣が主体で。でも、学生がメインの部活なので、自分たちの代になったら、コーチに言われて動くんじゃなくて、部員主体でやっていきたいと、チームメイトの川口潤くんと話していましたね。だから4回生が不在で、3回生のときに主将に就任しましたが、心の準備はできていませんでした。コーチとミーティングで話したのは、翌年に1部昇格できるようなチームづくりをすること。ですから、主将1年目は準備期間と位置づけて、様々な改革を行いました。

気づいたことは言う。主将としての役割を認識。

まず、食事と筋力トレーニング。「健康体力研究所」のセミナーに参加して、体重と筋力の増加がいかに重要かを、理解してもらうことから始めました。また、以前は試合形式の練習だけをビデオ撮影していましたが、個人の技術向上のために、パートの練習にも導入。すべての内容を一から見直したことで、チーム内は〝新しいスタート〟という雰囲気になりました。

主将1年目は、みんなの先頭で引っ張っていくという気負いがあって、自分が何でもやってしまうことが多くて。〝みんなどうして気づかないんだ〟という思いを抱いていたんです。でも、考え方を変えて、気づかないんだったら教えて、改善した方がいいと思うことは伝えるように心掛けました。主将は部活内の潤滑油で、部全体がうまく回るように立ち振る舞えばいいかなと。

主将2年目は、2部全勝優勝。入替戦は1点差のまま最後までもつれ込みましたが、1部昇格はできませんでした。結果は負けちゃったんですけど、1回生の活躍やみんなの成長が見られて、すごく嬉しかったですね。部員だった頃は、ただプレーすることが楽しかったんですが、主将になっていろいろ違うものが見えてきて、そういう意味でも主将になってよかったです。勝つことも大事ですが、後輩が楽しんでくれてないと意味がないと思っているので。これからは学生コーチとして練習に顔を出します。みんなが気になってしょうがないので（笑）。

学生コーチとして週5日の練習にほぼ立ち合い、後輩を見守る岩佐さん。彼らの良き相談相手となり、陰からチームを支える。また、毎週日曜にはOBチーム「スーパースターターミガンズ」のメンバーとして、後輩たちとの合同練習に励んでいる。

岐大アメフト部 30年の歴史

- 1982 創部（6月1日）
- 1983 東海学生アメリカンフットボール連盟に正式加盟
- 1991 東海学生リーグ戦にて初の勝ち越し
- 1999 加盟17年目で初の2部優勝 入替戦で勝利し、悲願の1部昇格
- 2000 入替戦で大敗し、2部降格
- 2001 現チアリーダー「Stars」の前身となる「DSF」登場
- 2002 2度目の1部復帰
- 2004 3度目の1部復帰
- 2009 部員数不足のため従来の練習ができなくなる 23年ぶり2度目の2部全敗
- 2010 2部リーグ2勝2敗 最下位を抜け出す
- 2011 創部以来初めて4回生不在 2部リーグ、2年ぶりの全敗
- 2012 創部30周年に全勝し、2部リーグ優勝 入替戦は1点差で惜敗
- 2013 岩佐さん引退 学生コーチに就任

3回生の岩佐さんが第29代主将に就任
友人に誘われて岩佐さんが入部